

[今日通過する自治体での非核宣言]

[核兵器廃絶のまち宣言／播磨町議会]

播磨町は、世界の恒久平和を願うため「82年・平和のためのヒロシマ行動」で採択された「ヒロシマ・アピール」に賛同し、人類の繁栄と幸福の実現を求めるものである。いま、世界に核戦争の危機を感じ、これを憂う人が広がりつつある。我が国は、人類史上、かつて見たことのない原子爆弾の惨禍を身をもって体験し、国民の悲願として、核兵器の廃絶を訴えている。我々は、人類が再び同じあやまちを繰り返さぬよう核戦争の防止を求め、この波紋が大きな輪となって世界の人々の心の中に浸透し、限りない運動として発展してゆくことを心から念じる。美しい自然を絶やさないために、播磨町を「核兵器廃絶のまち」とすることを宣言し、人類永遠の平和のためまい進することを期するものである。

昭和57年4月28日

播磨町議会

[核兵器廃絶都市宣言／加古川市議会]

加古川市は、「82年・平和のためのヒロシマ行動」で採択された「ヒロシマ・アピール」に賛同し、世界の恒久平和を願い、武力国家の対立を解消して、英知と友愛に基づく新しい秩序の実現を希求する。いま、世界に核戦争の危機を感じ、これを憂う人が広がりつつある。我が国は人類最初の原爆被災国として、核戦争が人類を破滅させ得るものであることを身をもって証明した。私たちは、人類が再び同じ過ちを繰り返さないよう核戦争の防止を求め、核兵器廃絶を強く訴える。地球上に、平和も愛もいのちも、また美しい山河を絶やさないために、加古川市を「核兵器廃絶都市」とすることを宣言し、他の宣言都市と相携えて世論を喚起し、核兵器廃絶を誓う市民の輪が我が国に、そして世界に広がることを期するものである。

昭和57年3月29日

加古川市議会

世界大会へ40人以上の代表を—民医連が全力

◇兵庫県民医連は、今年の原水爆禁止世界大会に40人以上の代表派遣を目標に取り組みをすすめています。神戸医療生協は職員で「HMの会」(ハムの会)をつくり、世界大会代表に「メッセージ」「平和川柳」を贈る運動、「平和BAR」で財政活動などを計画。すでに5人の代表が決まり10人以上をめざしています。2010年NPT再検討会議に参加した青年研修医が就職し、友だちと一緒に世界大会への参加を計画。尼崎医療生協も10人目標で4人が確定。姫路医療生協は、毎週火曜日7時半から竹の子や山菜などを共立病院玄関前で販売し53,220円の収益。毎年実施している「平和バスツアー」で27,460円の収益を上げることができました。組合員、職員に「代表派遣カンパ」をお願いして95,000円程集まっています。昨年2人の代表だったのが、ほぼ3人分の参加費は集めることができました。宝塚医療生協、健康共和国なども壮行会の日程を決めて代表を選出していっています。民医連県連の今井雅一さん(兵庫県原水協常任理事)は自身も世界大会参加を申し込み、「被爆70周年のNPT再検討会議に多数の代表を送るためにも、青年に世界大会の意義を実感させたい。現地で兵庫県独自の青年交流集會も計画しているので、すべての法人から目標通りの代表を送って、兵庫県の意気込みを示したい」と平和行進中も取り組みを強めています。



明日は姫路市へ＝約20キロの行進

高砂市役所(9時集合、9時半発)－山電大塩駅前(11時／姫路市と引継・昼食、正午発)－松原神社(13時半頃)－山電飾磨駅北(14時半頃)－姫路市役所(15時半頃)－大手前公園(17時頃)